

## 箱根旅行の交通ハブ、強羅駅前の地下通路が「GORA Underpass」としてリニューアル！

### — 明るくアイコン性を高めたリノベーションをローカルコミュニティの協力で実現 —

このたび箱根強羅観光協会（神奈川県・箱根町、会長：田村洋一）は、観光協会員や地元企業の協力のもと、箱根登山電車 強羅駅前の地下通路のリノベーションを実施しました。箱根の名産「寄木細工」に着想を得たデザインをあしらった本通路は、箱根を訪れる観光客を温かくお迎えし、また地域住民にもより親しみをもって利用してほしいという思いを込めて「GORA Underpass（強羅アンダーパス）」としてリニューアルしました。8月16日（金）開催予定の「箱根大文字焼」を控えた夏の行楽シーズン以降の箱根旅を彩ります。



上) GORA Underpass  
右) リニューアル前の「一般通路」

#### <背景>

箱根登山電車 強羅駅は箱根山内の交通の要所で、多くの観光客が乗降・乗り継ぎを行います。

周辺ホテル・旅館・施設への中継拠点でもあり、この地下通路も「一般通路」として観光客に加え地域住民や通勤・通学者が利用していました。

しかしながら老朽化が進んでおり、このたび旅行需要の復調やインバウンド旅行客の拡大を受け、箱根地域にも甚大な被害をもたらした台風19号（2019年10月）から5年となる節目に、イメージ刷新へと踏み切りました。

#### <リニューアルについて>

箱根強羅観光協会「美化タスクフォース」主導のもと、箱根地域で設計実績のある建築家ユニットARIWRKS（アリワークス）による設計、箱根・小田原地域の企業による施工、観光協会加盟企業や地域住民による塗装や清掃など、ローカルコミュニティの協力によって実現しました。





上) 観光協会加盟企業や地域住民による作業協力

右) GORA Underpass デテール



### <デザインについて>

地下通路でありながら思わず通りたくなる明るさ、アイコン性、親しみやすさ向上などの観点から、箱根の名産である「寄木細工」に着想を得たデザインを採用しました。

既存天井を取り払い明るく塗装をし、天然杉を用いたユニットパネルとスポットライトを設置することで、夜間にも目を引く外観に。駅やシャトルバス乗り場、またトイレなどのサインにもピクトグラムとバイリンガル表記を採用し、国際的な観光地として、海外からの旅行者に向けたわかりやすさも重視しました。

### <今後のイベント情報>

第 103 回 箱根強羅温泉 大文字焼

開催日時：2024 年 8 月 16 日（金）19 時 30 分点火

小雨決行 ※荒天の場合は8月18日（日）に延期

詳細：<https://goura-kanko.jp/blog/post-571/>



### <プロジェクト概要>

名称：GORA Underpass（強羅アンダーパス）リノベーション

主宰：箱根強羅観光協会（神奈川県足柄下郡箱根町強羅）

設計：ARIWRKS（東京都渋谷区）

施工：株式会社上野工務店（箱根町宮ノ下）、イシイ電機（箱根町仙石原）、ヤブタ塗料株式会社（神奈川県小田原市）

撮影：Studio Cafe SHIMA（箱根町強羅）

協力：箱根町、株式会社小田急箱根、世界救世教、箱根強羅温泉旅館組合、箱根強羅飲食店組合、箱根強羅商和会ほか

### 【報道関係者問い合わせ先】

箱根強羅観光協会（〒250-0408 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 1320-185）

TEL: 0460-82-2300 E-mail: info@goura-kanko.jp